



マイナンバーカード連携型 図書館システムの導入

マイナンバーカードから始まる
図書館DX

DXアイデア部門

東村山市 経営政策部 情報政策課

公立図書館システムのリプレイスを図書館DXのチャンスに！

背景と現状の課題

- 現行システムのリプレイス時期が迫っている
- 公立図書館システムと電子図書館サービスのIDは連携していない(→IDバラバラ問題)
- 図書館利用カードの発行は窓口での申請が必要
- 学校図書館にはシステムが未導入であり、一元的な蔵書管理ができていない
- 近隣市と運用中の広域共同利用についても円滑に継続していく必要がある

目指している姿

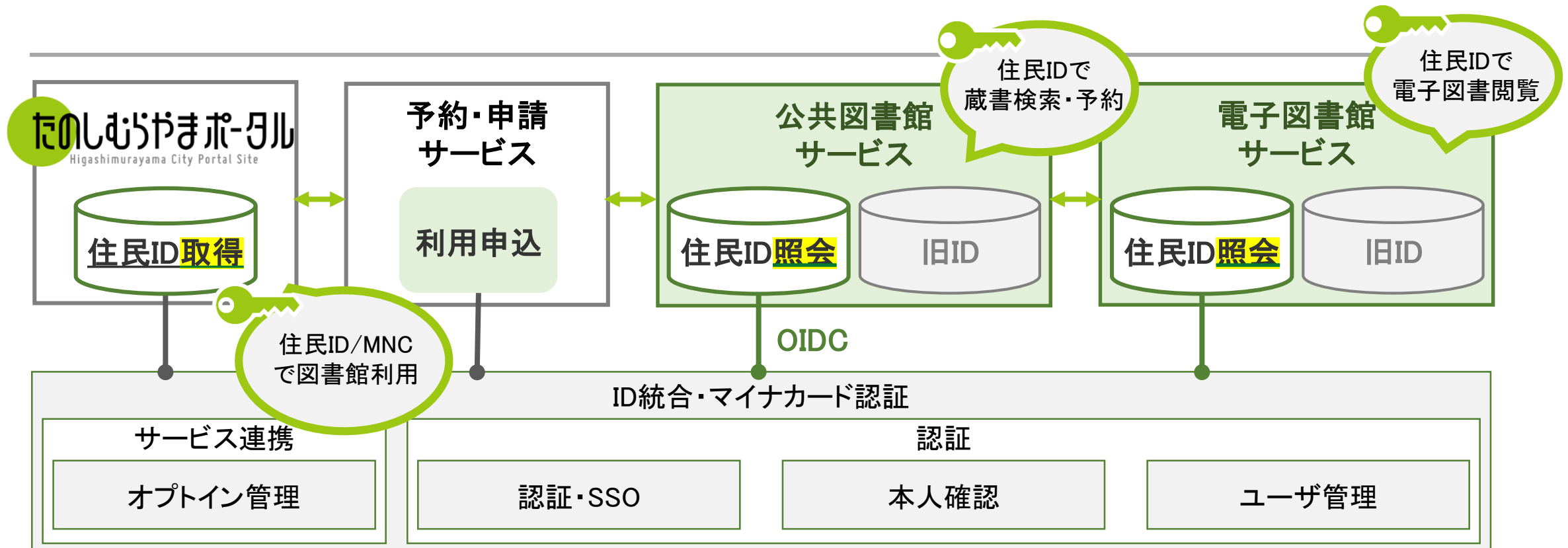
図書館にまつわるIDを統合し、オンライン/オフラインの域内図書館を横断管理する仕組みを実現！

キーポイント

- 公立図書館システムと学校図書館システムとの一体的な構築
- 各システム・サービス、住民ポータルとのID連携・シングルサインオン
- マイナカードを図書館利用カードとして活用

実現イメージ

- 公立図書館システム、学校図書館システム、電子図書館サービス、住民ポータルを連携
- マイナカード(MNC)を図書館利用カードとして利用できる仕組みを構築



期待される効果

住民サービスの向上

- 住民IDやマイナカードで図書館サービスを含めた様々なサービスが利用可能（利用登録もオンラインで）
- 複数のIDを管理したり、複数のカードを携帯する必要がなくなる
- 住民ポータルからのプッシュ通知で必要な情報を得ることができる…etc

効率的・効果的な運営

- 蔵書管理が一元化され、公立図書館と学校図書館との連携が強化
- 重複購入の防止や効率的な書籍配置、デジタル化による事務処理の簡素化によるコスト削減…etc

広域的な波及

- 新たな図書館DXについて、都内自治体による広域的横展開や相互連携を目指すことができる

実現に向けた課題

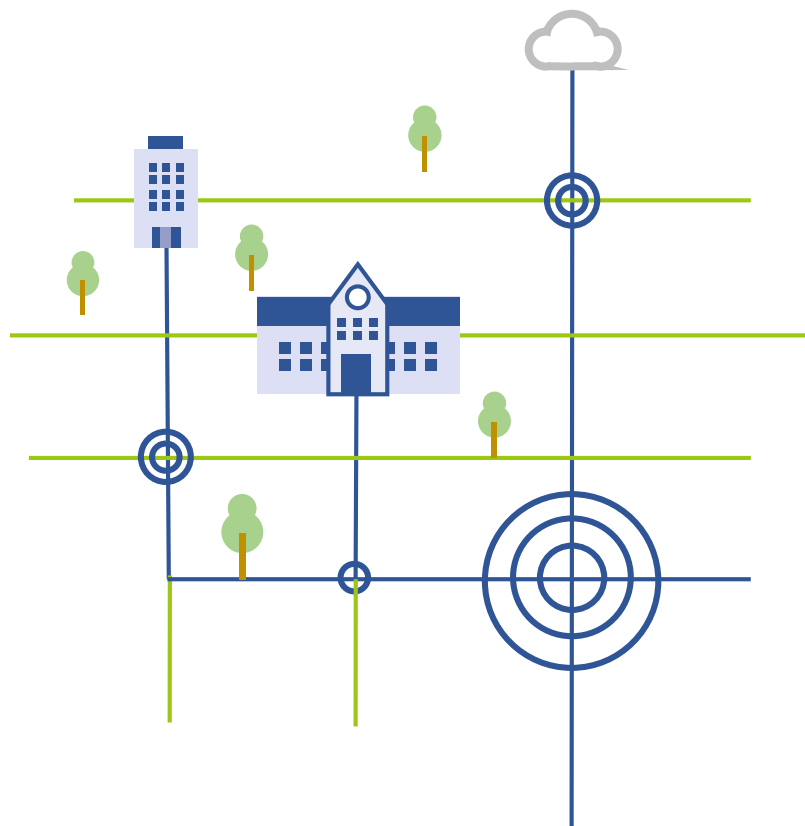
- 図書館利用カードについてはマイナカードによるデジタル実装が進んでいきそうだけど…
→ 当面は併存期間の運用や円滑な移行について考え方の整理が必要
- 図書館分野でのID・マイナカード連携等についてはベンダーの対応があまり進んでいない…？
→ 各自治体で検討・実装するたびにカスタマイズコストが発生！？
- 広域利用への対応に必要となるシステム要素・運用要素の洗い出しが必要…
→ 最新のマイキーPF方式による実装や広域利用の事例は少なく対応ベンダーも少数

各種調査・検討によって論点をひとつずつ解決していくことが必要だが
技術的にもマンパワー的にも、単独自治体で対応するにはハードルが高い！

今後の展望・まとめ

- 図書館DXを進めていく上では、自治体間の協力・連携が不可欠
- 図書館システムの統一はできなくても、「やり方」や「つながり方」を揃えていくことはできるのでは？
- 一気には無理でも、リプレイス時などに少しずつ進めていけば、最終的には東京都全体の図書館DXにつながるはず

リファレンスモデルとなれるよう頑張りますので、ご支援・ご協力をお願いします



法定点検等施設管理情報の 広域情報収集自動化・見える化

デジタルのチカラで
公共施設マネジメントを強化！

DXアイデア部門

東村山市 経営政策部 情報政策課

公共施設の点検等にかかる報告業務をデジタルのチカラで効率化したい！

背景と現状の課題

- 「包括施設管理委託」の導入など、公共施設マネジメントを推進してきたが、さらなる効率化に向けて課題の洗い出しを実施。
- 12条点検や消防設備点検等の各種法定点検や、温対法・省エネ法等にかかる報告業務は、紙などのアナログ対応が中心。
- 多くの書類作成や承認、紙媒体での郵送が必要で、多数の関係者がバケツリレー式で対応。データの収集や報告に多くの工数がかかっている。
- 苦労して収集したデータも十分に活用できていない。

目指している姿

公共施設の関連データの収集・業務報告を自動化するとともにデータの見える化・利活用を推進。
施設の保全・安全・居住性などにも応用・拡大し、安心・安全なまちづくりを実現！

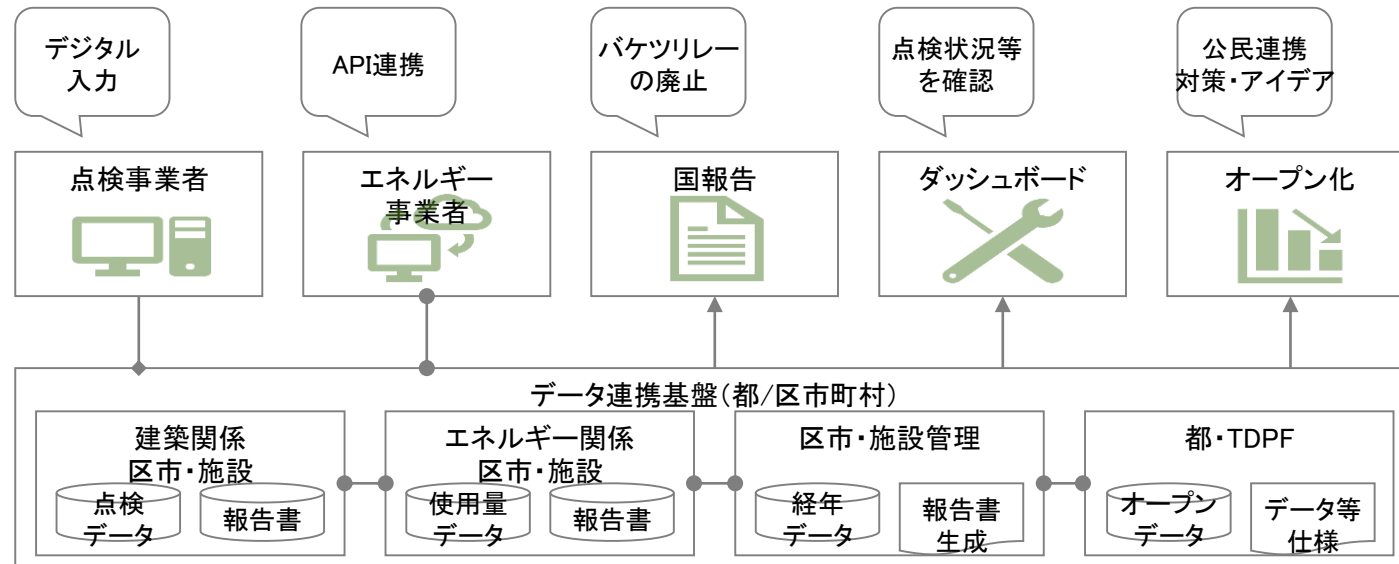
キーポイント

- 連携基盤の活用等によるデータ収集・報告の自動化
- 施設管理情報のデジタル化、オープン化、ダッシュボードによる見える化

実現イメージ

- IoTセンサーやモバイル端末を通じて、現場の点検データを自動的に収集・蓄積
- 収集されたデータはデータ連携基盤や標準的なAPIを通じて、複数のシステム間で統合・連携
- 定められた形式に基づき報告データが自動的に生成され、関係者へ適切に送信
- データはダッシュボードやTDPF等によって見える化・オープンデータ化し官民での有効活用へ

学校等、避難所としても使われる施設のデジタル化を“都で共通の仕組み”として実現



期待される効果

業務の効率化

- データ収集・報告を自動化することで「バケツリレー」を廃止でき、関係者それぞれの負担が軽減される

データの有効活用

- ダッシュボードによる見える化やオープンデータ化等により、施設の維持管理の高度化や公民連携による課題解決につなげることができる

平時と非常時の両立

- 平時は、IoTやネットワーク、データ連携基盤を公共施設マネジメントに有効活用することで、災害時の活用（例：IoTセンサーを用いた避難所データの収集・情報共有など）の費用対効果を向上させることができる。

実現に向けた課題

- 業務による報告様式や利用データの差異が複雑
 - 帳票に必要なデータと、その所在・関係性の棚卸、GIF等、国が進める標準仕様への対応が必要
- 事業者によってシステムやデータ連携方式が異なる
 - データ連携のために必要なAPI/データモデルを定め、差異を吸収する仕組みづくりが必要
- 各種点検業務・環境エネルギー管理業務は国都による様式での報告や大手民間との調整が前提
 - 単独の自治体で交渉しても難航する可能性が高い

各種調査・検討によって論点をひとつずつ解決していくことが必要だが
技術的にもマンパワー的にも、単独自治体で対応するにはハードルが高い！
(東京都関連については、統一的に方式を整備することで解決できそう)

今後の展望・まとめ

- 公共施設マネジメントも災害対策の強化も**全国の自治体に共通する待ったなしの課題**
- 超えなくてはならないハードルもあるが、東京都、GovTech東京、区市町村が一丸となれば活路を見出せるはず
- 実現すれば**効果は都内全域に波及**。データ連携基盤の**広域共有モデル**の検討にもつながる

リファレンスモデルとなれるよう頑張りますので、ご支援・ご協力をお願いします

国保診療報酬明細書・資格点検

レセプトも資格もデータがあるのに
なぜ手作業が多いのか！

DXアイデア部門

狛江市職員（個人応募）

あらかじめ断つておきます！

欲しいものはアイデア
欲賞

受賞でも地位でも名誉

でもありません

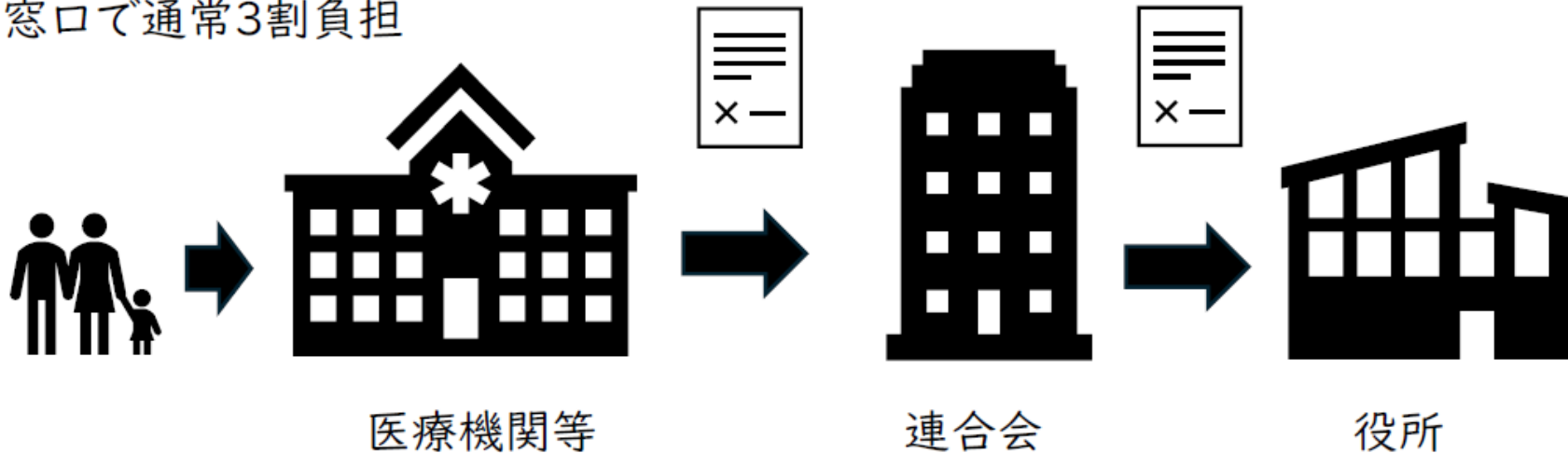
実際に現場で困っている現状
をスパッと解決してくれるシ
ステムそのもの

それが今一番本当に欲しいモ
ノなんです！

どんなことしているのかって言うと...

残り7割は保険者へ請求

窓口で通常3割負担



請求されたレセプトが...

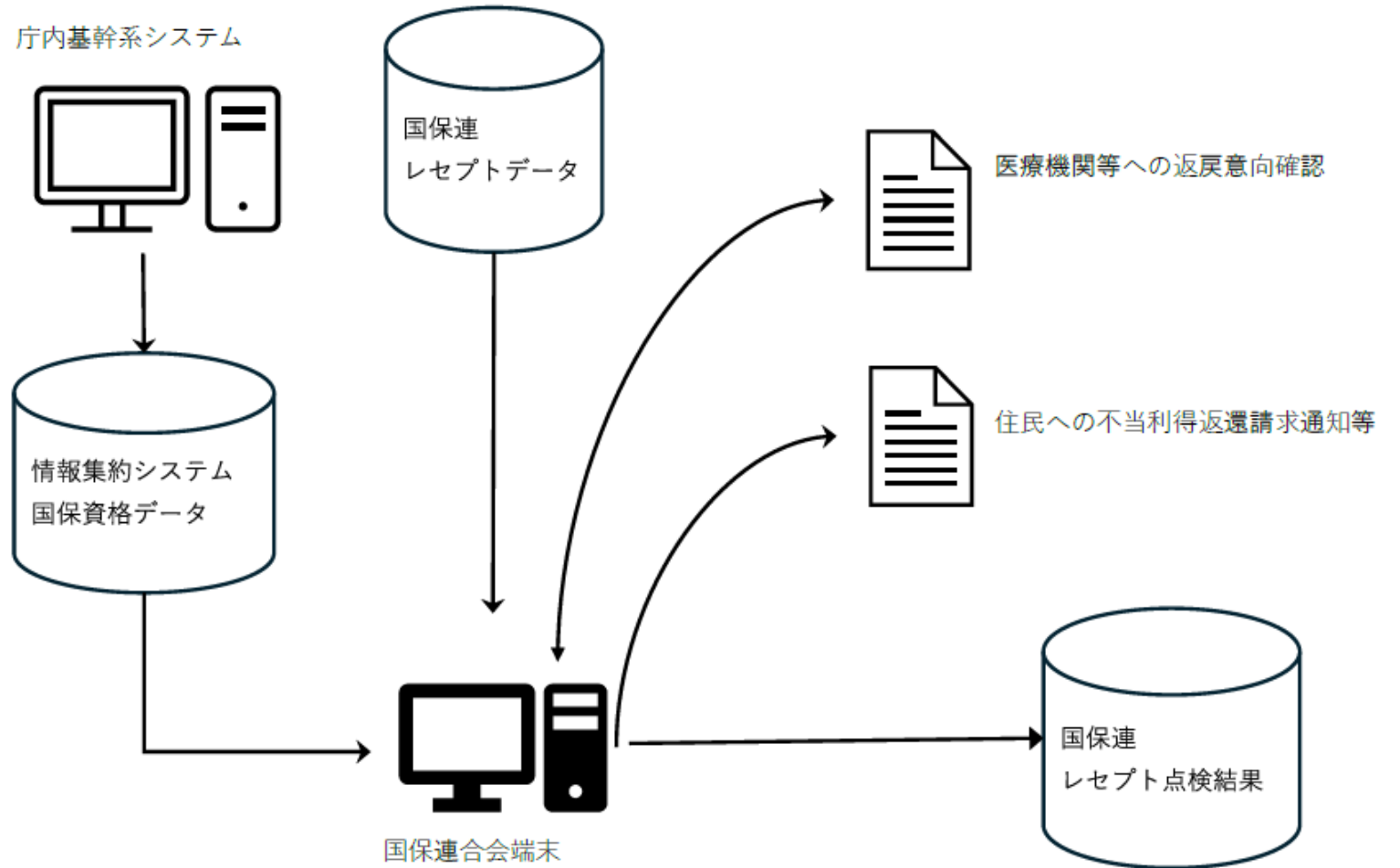
ホントに国保の資格あるの？
負担割合は3割？2割？1割？
公費は？
限度額は？

などなど...



これらを目視で確認
手で作業している

で、何が欲しいのかっ
ていうと...



どんな未来が待っているかといえば...

- 職員数が減少していく未来、人の手や目を使う作業をなくせる！
- 人の判断が介入しないことで、一律のサービス提供が可能となる！
- 東京都国保連管轄下の自治体で横展開ができる！
- あわよくば、東京都国保連管轄下の国保組合にも展開できる!?
- さらに、都外の国保連にも展開が可能???

DXのアイデアは道端の石ころのようにあちこちに転がっています

その石ころは、けしてダイヤモンドのように輝いているものではなく、派手さは全くないかもしれません

ですが、なんの変哲のない石ころでも、拾い上げてみれば、その人にとってかけがえのない奇跡の石かもしれません

派手さのないこの提案でも、実現されればダイヤモンド以上の価値のあるものであると確信しています

来年度も、多くの自治体の現場職員から、ひとつでも多くの石ころを拾い上げて、アイデア賞のエントリーが増えることを願っています

これがローコードツールのベストプラクティス！

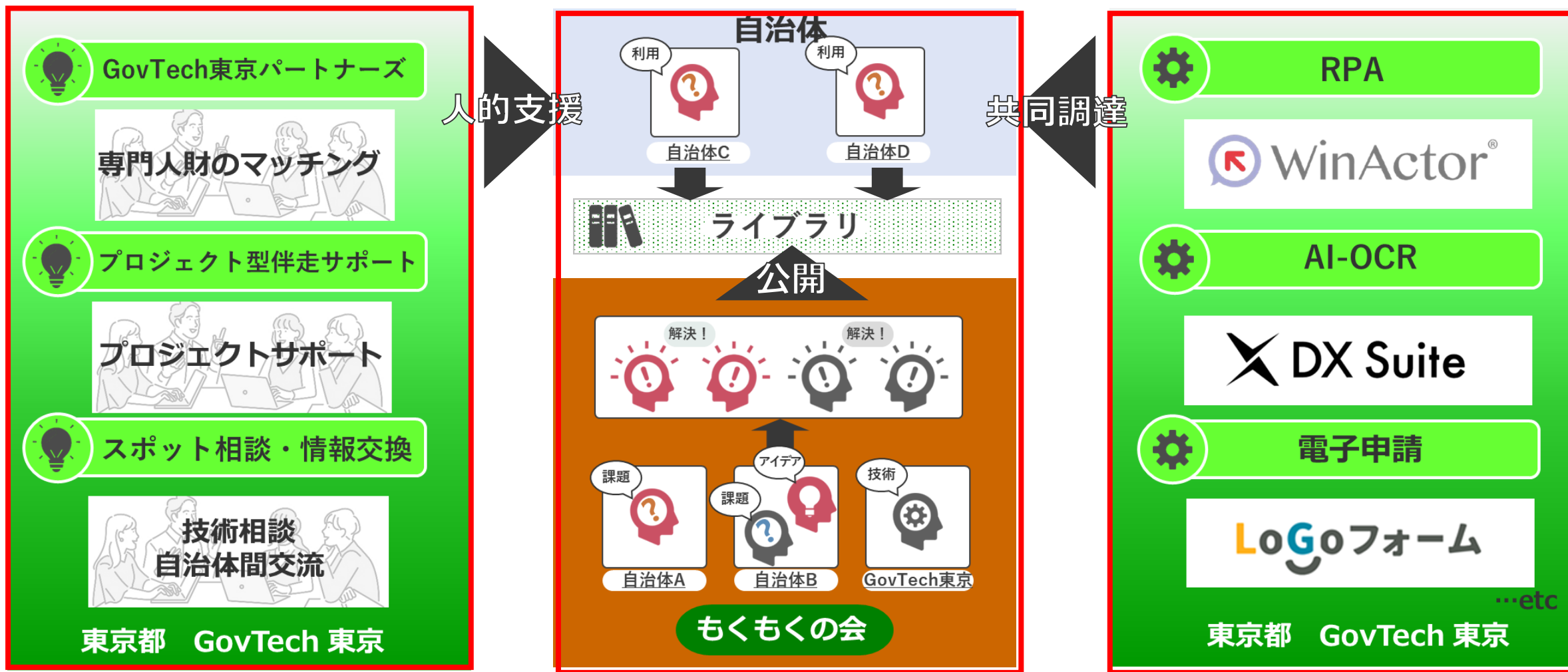


GovTech東京と自治体の混成チーム
で開催する「もくもくの会」

アイデア部門

板橋区政策経営部IT推進課

ローコードツールによる課題解決を行うGovTech東京と自治体職員の混成チーム



共同調達されたツールを人的支援を受けながら各自治体で独自に実装



共同調達されたツールを人的支援を受けながら各自治体で独自に実装

GovTech東京パートナーズ

専門人財のマッチング

プロジェクト型伴走サポート

人材支援の課題

ノウハウが蓄積されない

事例数が伸びない

東京都 GovTech 東京

人的支援

自治体

自治体A

不当利得徴収業務
Kintoneで実装

自治体B

不当利得徴収業務

自治体の課題

実装工数が多い

自治体間で実装が異なる

好事例の横展開が難しい

共同調達

RPA

WinActor®

AI-OCR

共同調達の課題

利用自治体数が伸びない

費用削減効果が伸びない

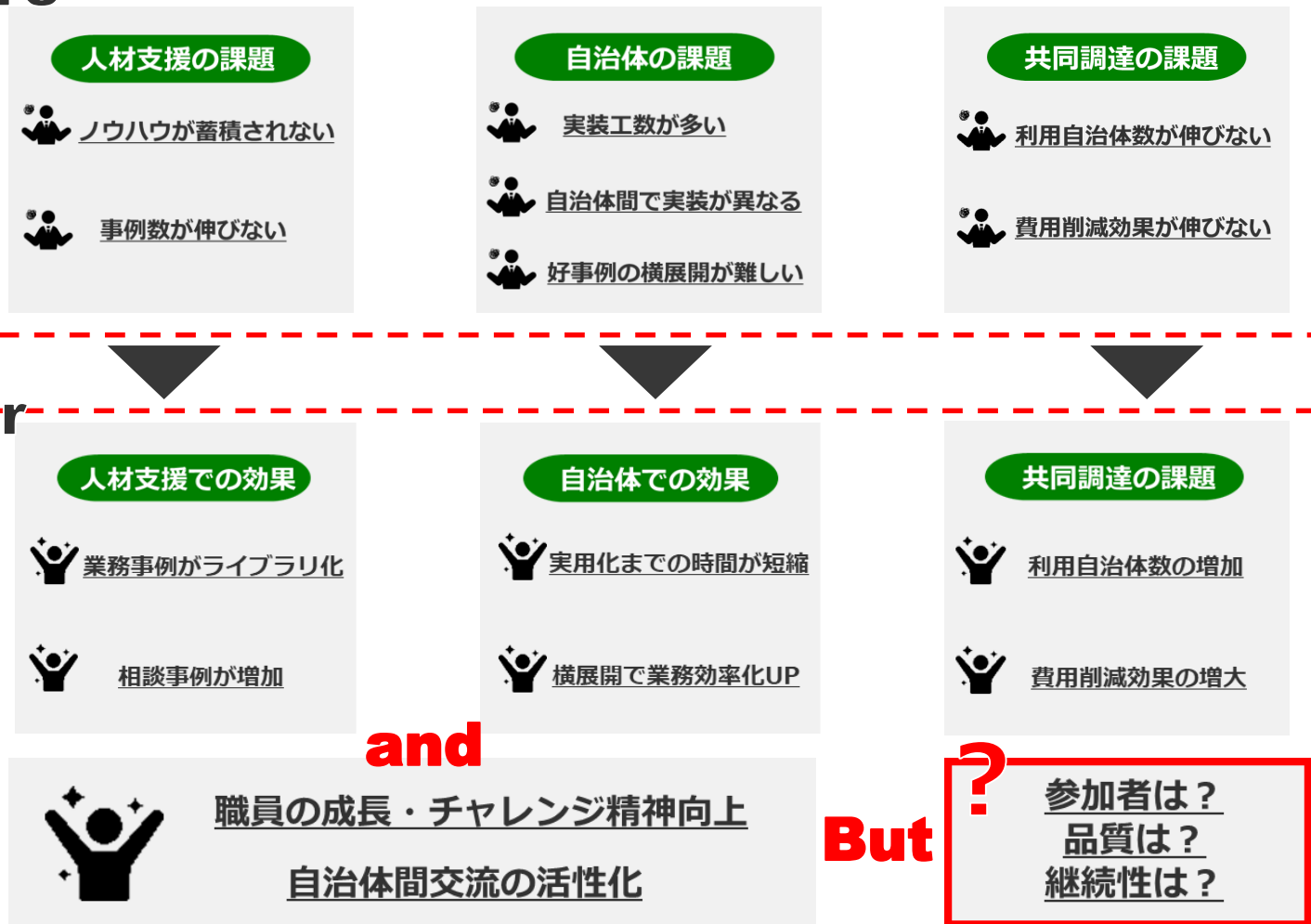
東京都 GovTech 東京

業務実例のナレッジ化、共同調達の効果拡大、自治体業務の効率化促進、自治体間交流の活発化

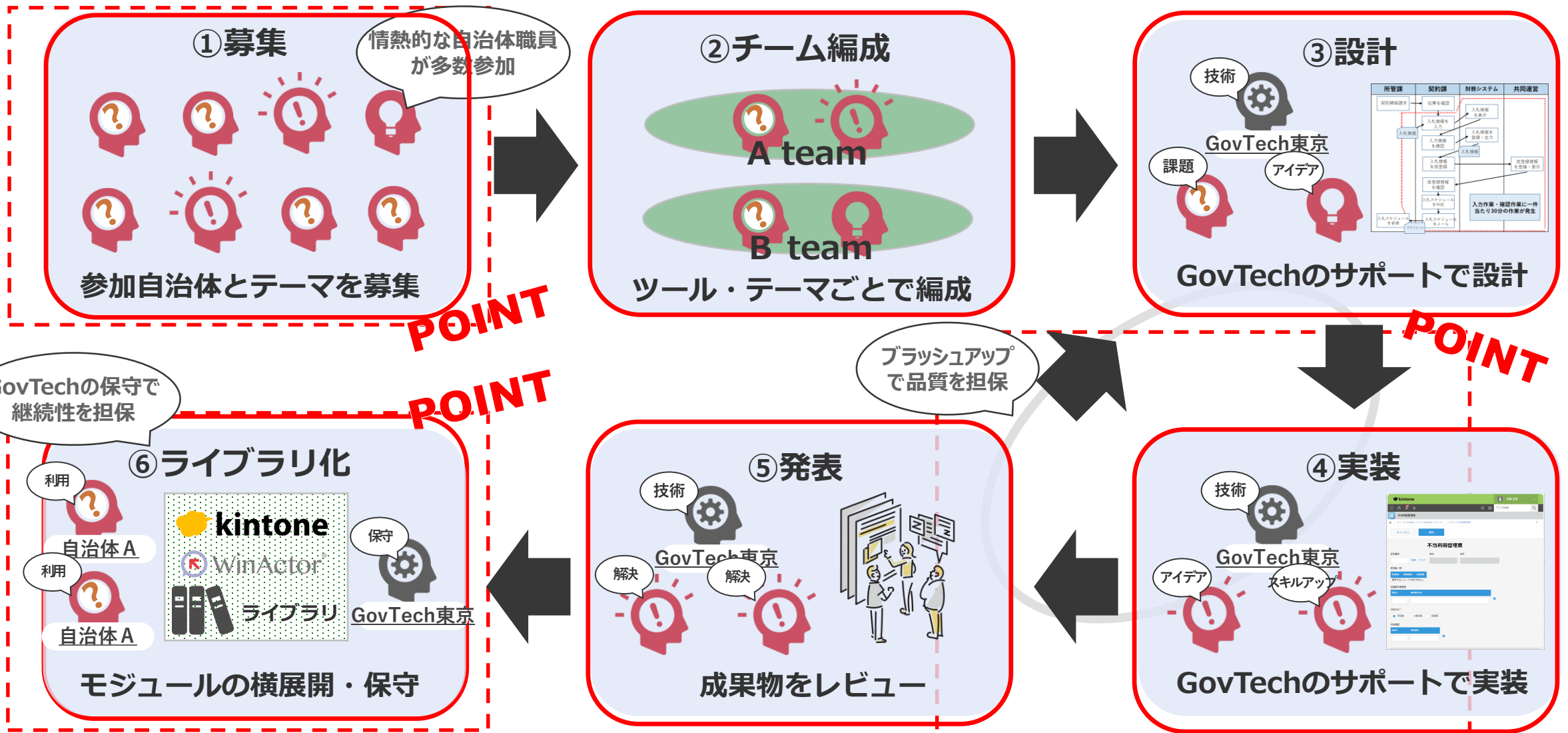
Before



After



情熱的な職員の参画。成果物のブラッシュアップで品質を、GovTech東京の保守で事業継続性を担保



事業例①

ローコードツールとRPA



ローコードツール (kintone)

RPA (UiPath)

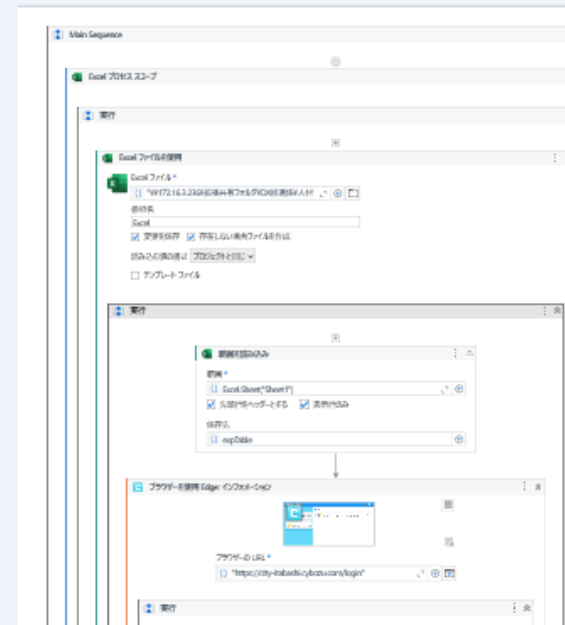


実装パターン

- ・ 他システムのデータをインポート
- ・ エクセルのシート単位でアプリ化
- ・ マスタとトランザクションを連携
- ・ 決裁フローを実装

適用業務

不当利得徴収業務（国保年金課） 民生委員管理業務（生活支援課）
樹木管理業務（みどりと公園課） 相談内容記録（介護保険課）
会議資料の共有業務（子ども家庭センター）
リサイクル報酬管理業務（資源循環推進課）



実装パターン

- ・ AI-OCRで申請書をデータ化
- ・ 電子申請のデータをエクスポート
- ・ RPAでエクセルをテーブル化
- ・ システム入力をRPAで実装

適用業務

入園申請業務（保育サービス課） 学童管理業務（地域教育力推進課）
集団回収実績報告業務（資源循環推進課）
マイクロチップ装着犬のデータ登録業務（生活衛生課）
要支援・要介護認定申請書の入力（介護保険課）

事業例②

グループウェア



M365 Power Platform

申請組織 : D X 教育係
申請者 : 安藤 正博

承認5	承認4	承認3	承認2	承認1

(テスト) 新しい学校づくり課 補修申請書

校舎緊急補修申請書

工事箇所
発生日時
補修理由
備考

決裁履歴
承認 訂正
承認条件: 1人以上が承認
承認条件: 1人以上が承認
承認条件: 1人以上が承認
伊東 希子

ワークフロー

M365

簡易決裁

CACでは、簡易決裁機能。このフォームを送信すると、簡易決裁に承認したメールアドレスが通知されます。

* 承認

1. 件名*
承認を入力してください

2. 内容*
承認を入力してください

3. 添付ファイル (非表示の項目)
添付ファイルのアップロード
ファイルのアップロード: 添付ファイルのアップロード (添付) 許可するファイルの種類: Word, Excel, PowerPoint, PDF, Text, Image, Audio, Video, Other

Forms/Power Apps



Power Automate

SharePoint

職員ポータル

タイトル	件名	内容	承認者	承認日	承認時刻	承認時刻	承認時刻
1	テスト	テスト					
2	テスト	承認待ちテスト					
3	テスト	承認待ちテスト					
4	テスト	承認待ちテスト					
5	テスト	承認待ちテスト					
6	テスト	承認待ちテスト					
7	テスト	承認待ちテスト					
8	テスト	承認待ちテスト					
9	テスト	承認待ちテスト					

SharePoint List/Dataverse

設備予約

2024年10月24日(木) ~ 2024年10月30日(水)

表示: (参照できるすべて)

設備名	24(木)	25(金)	26(土)	27(日)	28(月)	29(火)
10階会議室1	09:00 - 12:00 国アロート打合せ(高田 快)	09:00 - 12:00 (無) 国保給付W G (4/10) (砂林 大樹)	09:00 - 12:00 会議: Weekly モーニング(安藤 正博)	09:00 - 10:00 会議: Weekly 区デジタル推進課 長会(高井 晴太)	09:00 - 10:00 会議: 第3回特別 区デジタル推進課 長会(高井 晴太)	09:00 - 10:00 会議: 第3回特別 区デジタル推進課 長会(高井 晴太)
10階会議室2	10:30 - 12:30 DNPメタバース 推進(森 光明)	09:00 - 10:00 会議: 1階会議室(高井 晴太)	10:00 - 11:00 会議: 1階会議室(高井 晴太)	10:00 - 11:00 会議: 1階会議室(高井 晴太)	10:00 - 11:00 会議: 1階会議室(高井 晴太)	10:00 - 11:00 会議: 1階会議室(高井 晴太)

設備予約

効果

削減経費

約 11 億円

削減工数

10,360 時間

※開発費は3,000万円、職員の作業工数は月5人日×2人×4月で試算しています。
利用団体は62団体の約6割にあたる37団体で試算しています。

文章生成 A I や BI ツールへの展開で適用業務が大幅に拡大

文章生成 A I

B I ツール

ライブラリ

データ成型



インフラ

LLM
RAG

GPT Claude Gemini
Azure Search ...



東京都 GovTech 東京

適用業務

福利厚生規則 議会議事録要約
人事採用Q/A ホームページ案内Q/A
電子申請マニュアル

ライブラリ

ダッシュボード

データ匿名化



インフラ

BI ツール
データレイク

Tableau
Power BI



東京都 GovTech 東京

適用業務

社会人口動態調査 国勢調査
通勤通学分析 就業状態分析 人口移動分析
住民基本台帳人口移動報告分析

自治体の課題は共通で膨大だ。だが、情熱はある。想いを一つに、アイデアを無限に。
GovTech東京の技術力と自治体の結束で、東京都の未来をよりよく創造していきたい。



Thank you

*Getting better all the
time*



デジタルじぶんノートで 自分史作成・未来設計のサポート

DJノートで人生のビートをスクラッチ

DXアイデア部門

調布市高齢者支援室

調布市行政経営部デジタル行政推進課



- 1 経緯・背景
- 2 現状の課題
- 3 提案内容
- 4 PRポイント
- 5 提案実現後の姿

LET'S PLAY!



大事な情報の日々の記録
全世代に必要なのでは…

にすればよいのでは？



目次

私の家系図、相続コラム	11
家族	12
親戚・友人リスト	13
やってみたいこと、伝えたいことなど	14



現状の課題

記録形態

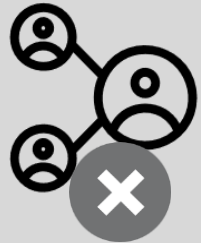
更新が不便



あの時何を書こうと
したんだっけ…

更新したいけど
消しゴムどこだっけ…

遠方の家族等との 共有困難



記載内容伝えたいけど
紙だと難しいな…

記載項目ごとの 共有設定不可



この項目は共有し
たくないのにな…

内容

若者世代が 手を出しづらい



介護・お墓…

記載内容に応じた 提案不可



行政としては
配布して終了

現代社会

共有相手が いない場合有



身寄り・頼れる親族
いない…





アプリ版
「じぶんノート」





提案内容

アプリ



思い立ったとき
気軽に更新
できるYO

家族等との 共有機能



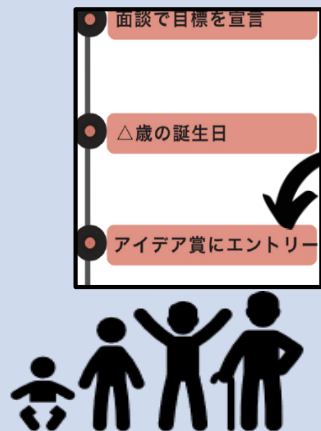
遠方の家族とも
簡単に共有
できる

記載項目ごとの 共有設定機能



共有したくない
項目を
選択できる

自分史

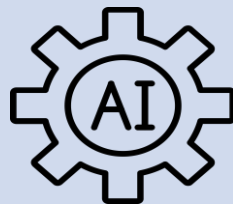


● 日時 保存 編集
2024 年 9 月 13 日

● タイトル
アイデア賞にエントリー

● 内容
D(デジタル)
J(じぶん)
ノートで
人生のビート(日々の想い)を
スクラッチ(刻む)
という熱い思いを込めたサブタイ

AIによる 市政情報 提供



AIからのご提案

あなたが記入いただいた内容から、
おすすめの市のサービス・イベント
等をAIからご提案いたします！

● 希望する
● 希望しない [詳細設定](#)

絶対に創業したい人のためのセミナー(全6回)

緊急時の 情報提供 の選択



公的機関等への情報提供

緊急時等万が一の際に、記載項目の
一部について、市への提供を希望し
ますか。

● 希望する
▼ 共有する項目を選択

- 未来
- 健康
- お金
- メッセージ
- プロフィール [詳細設定](#)



提案内容（課題との整合）



更新が不便

アプリ版開発



思い立ったとき
気軽に更新
できるYO

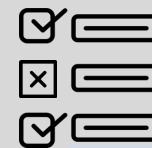


遠方の家族等との
共有困難

家族等との 共有機能



遠方の家族とも
簡単に共有
できる



記載項目ごとの
共有設定不可

記載項目ごとの 共有設定機能



共有したくない
項目を
選択できる



若者世代が
手を出しづらい

自分史



保存 編集

日時 2024年 9月 13日

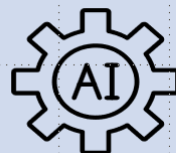
タイトル アイデア賞にエントリー

内容 D(デジタル) J(じぶん) ノートで 人生のビート(日々の想い)を スクラッチ(刻む) という熱い思いを込めたサブタイ



記載内容に応じた
提案不可

AIによる 市政情報 提供



AIからのご提案

あなたが記入いただいた内容から、
おすすめの市のサービス・イベント
等をAIからご提案いたします！

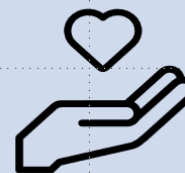
希望する
希望しない [詳細設定](#)

絶対に創業したい人のためのセミナー(全6回)



共有相手が
いない場合有

緊急時の 情報提供 の選択



公的機関等への情報提供

緊急時等万が一の際に、記載項目の
一部について、市への提供を希望し
ますか。

希望する
共有する項目を選択

未来
健康
お金
メッセージ
プロフィール [詳細設定](#)





先進性

同内容のアプリ・機能
を実現している自治体
事例なし



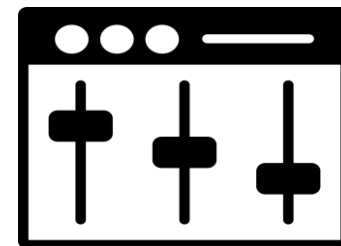
横展開可能性

多くの自治体が
エンディングノートに
注力しているため
行政への親和性高い



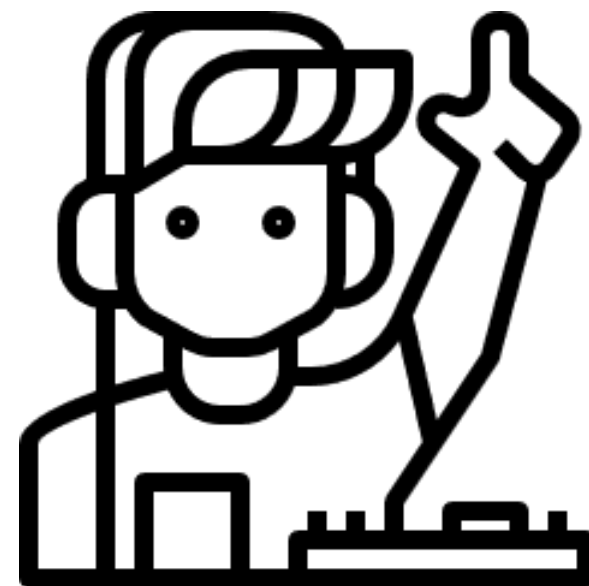
実現可能性

技術面
→類似の民間アプリあり
緊急連絡先の共有
→類似の自治体事例あり





Are You Ready?

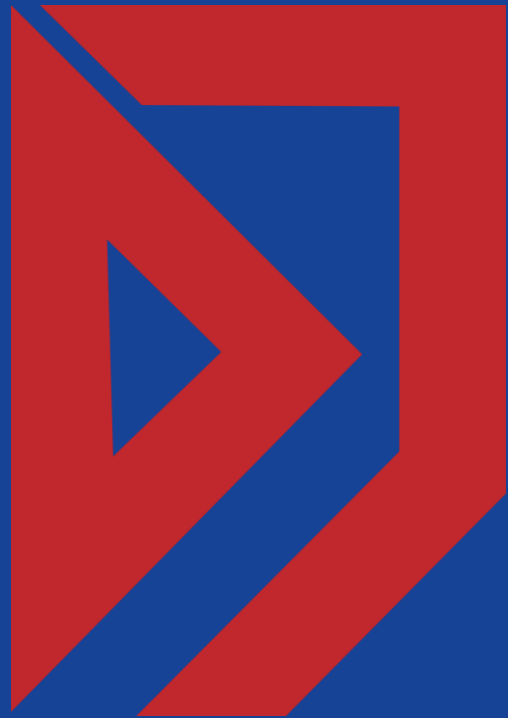


DJ NOTE RAP



FROM CHOFU CITY

DJノードで
あなたの
人生のビートを
スクラッチ



ONE TOKYO



都内共通施設予約ポータルサイトの運営

利用者目線で考えた
真に便利な施設予約とは

- DXアイデア部門 -

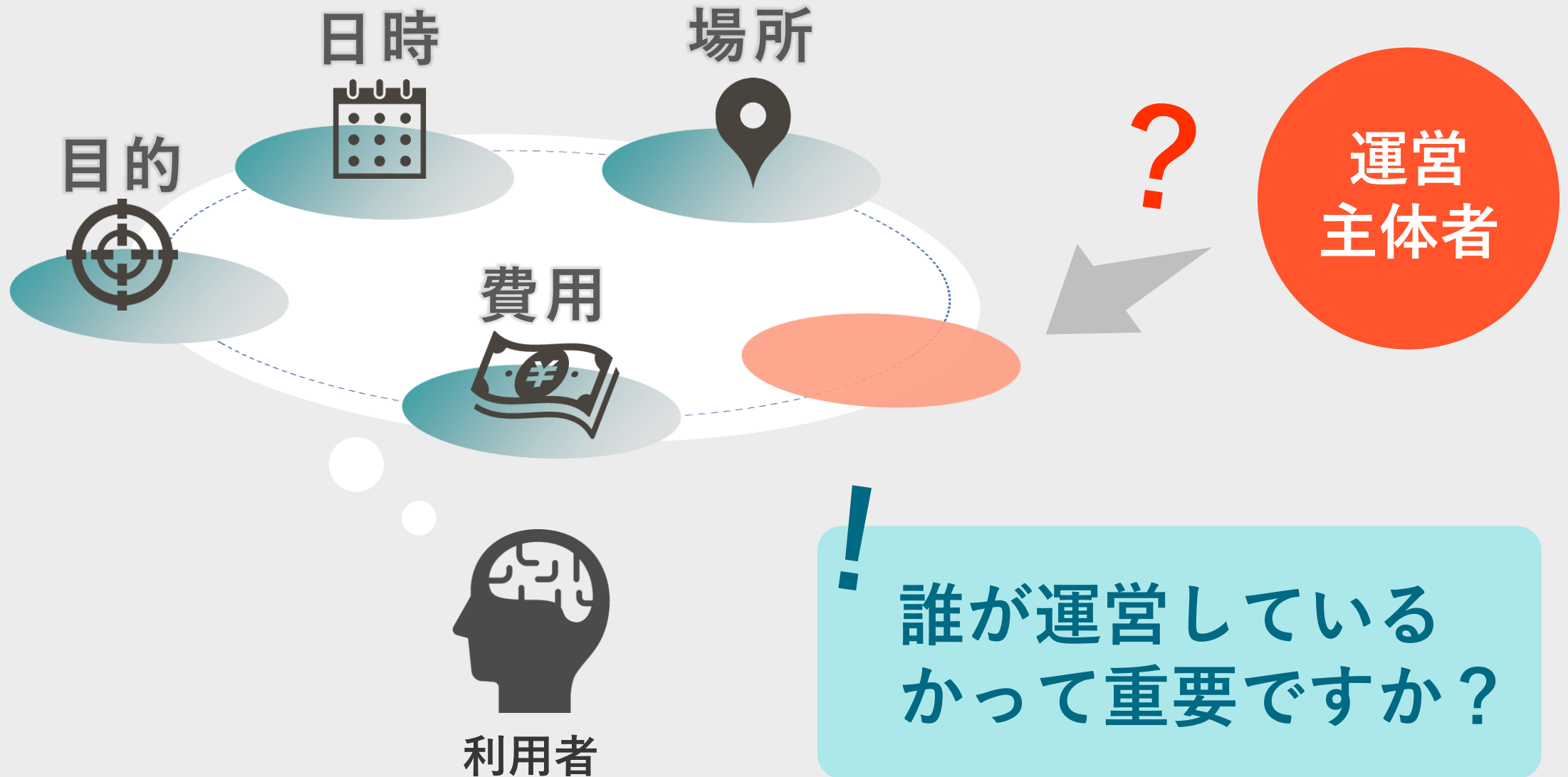
調布市

生活文化スポーツ部スポーツ振興課
行政経営部デジタル行政推進課

イメージして
みてください

スポーツをやりたいときに重要なのは？

CHOFU



例えば…

野球場を予約しよう



野球ができればどこでもいいんだけどなあ…

——— 答えはシンプル? ———

都民が共通で予約できる仕組み
があればいいんじゃないの?



都内共通施設予約ポータルサイト



- 都内各自治体の情報を連携
- 施設情報を一覧化して表示
- 共通IDで一括予約

便利ですね？

CHOFU



地図や沿線から施設検索
複数自治体施設の一括予約

1



公共施設共通予約アプリ

2

施設検索画面

東京都の都立・区立・市町村立の施設を一括で検索できるシステムです

利用日

2024年11月6日

目的（種目）

野球

場所

京王線沿い

- 地図から探す
- 沿線から探す
- 区市町村から探す

3

検索結果

15件の施設がヒットしました

一覧で表示

地図で表示

① 調布市営野球場

施設詳細

この施設を予約する

② 都立●●スタジアム

施設詳細

この施設を予約する

③ ▲▲市運動公園野球場

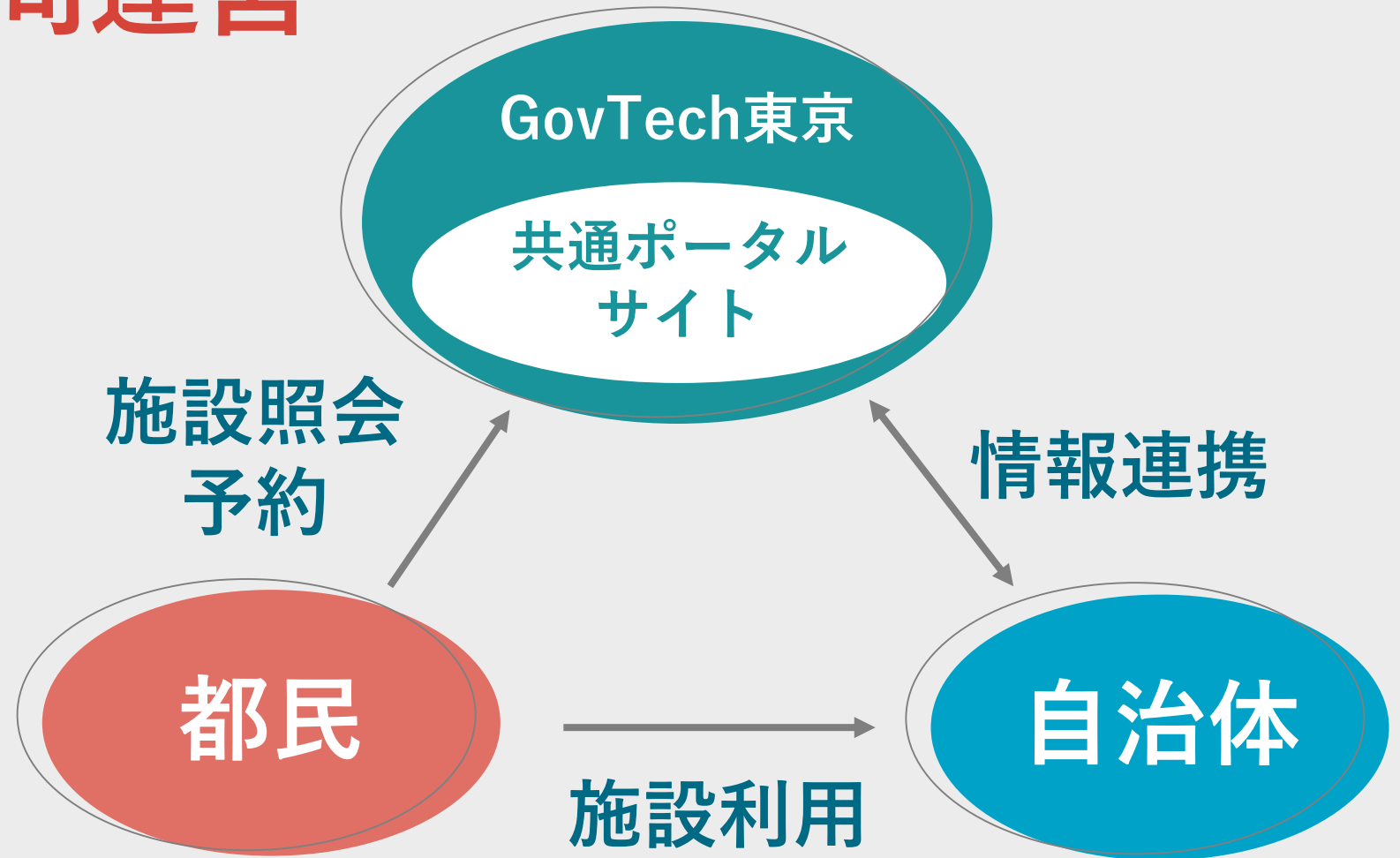
施設詳細

この施設を予約する

⋮

GovTech東京・都・区市町村 の共同運営

スキーム



課題

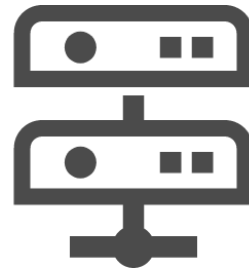
多くの自治体を巻き込むには
たくさんの検討すべきことがある

費用



- ・ 企画・開発・運用に係る諸コスト

技術



- ・ 新規構築・既存システムとの情報連携
- ・ 未システム化業務の移行

規則・制度



- ・ 各自治体ルールとの整合
- ・ 各施設の設置意義・住民の利益に反しない制度設計

東京都

GovTech東京

POLICY

顧客視点で
デザインしよう

デジタルサービスを
心がけよう

誰ひとり取り残され
ないようにしよう

デジタル10か条

「#1 顧客視点でデザインしよう」

資源(データ)を
最大限に活用しよう

顧客視点で
デザインしよう



て、
んだ。

VISION

中期経営計画

誰もが使いたくなるサービスを生み出し、
全国の半数以上の自治体で採用

私たちの未来

GovTech東京が目指す2040年の姿

主要な重要目標達成指標 (KGI) を設定

🌱 デジタルサービスに対する都民の90%以上がポジティブに評価

👍 誰もが使いたくなるサービスを生み出し、全国の半数以上の自治体で採用

👤 1000人以上のデジタル人材が公共領域で活躍、うち100人以上がCIO等の主要ポストで活躍

調布市は「デジタルの力で、全ての都民が
便利で快適」になる仕組みの実現に向け協業します

東京都版データ利活用人材育成スキームの開発・実践 自治体同士で育てあう「TIDE」プロジェクト



データは価値創出の源泉である



DXアイデア部門

目黒区企画経営部企画経営課
江戸川区経営企画部DX推進課

あなたの自治体は データ活用できていますか？

データ活用が
できていない理由

庁内にデータ文化がない、活用できる人材がいない、
データ分析基盤がない、データがない・・・



人材育成にフォーカスした提案

2自治体での共同提案に至った理由

■各自治体が独自で研修・育成を行うには厳しい現状



部署間でのデータ共有/連携の職員意識が不十分
横断的な人材育成が進まない・・・



データ分析スキルを持つ職員の確保が難しい
具体的な育成計画の策定に苦慮している・・・

内製することの
無理ゲー感



自治体が共同で活用できる研修スキームが必要

私たちの提案

区市町村・東京都・GTT等のみんなで

東京都版データ活用人材育成スキーム

「**T**okyo **I**nnovative **D**ata **E**ducation」
を開発・実践しませんか？

■役割分担（想定）

東京都/GTT

目黒区/江戸川区

その他自治体

運営体制フォロー、メディア発信

研修プログラムの開発・実践

ともに汗をかいてくれる方募集!!!



私たちが考える「データ活用人材」とは

■データ活用人材とは・・・

エビデンスから現状を認識・理解し、施策に活かすことのできる**現場の担当課職員**

【現場の職員を対象とする理由】

- ・ 事務事業に関するデータや対象に対する知識を最大限活用する
- ・ 現場職員のデータやエビデンスへの理解度を向上させ、組織のデータリテラシーのボトムアップを狙う



課題の把握、事業推進に必要なデータを理解・使うことができる人材を育成

育成スキーム 研修プログラム案

① 課題把握スキル

データの特徴や傾向をわかりやすく要約する

仮説構築に関する知識を中心に、

実務に沿った課題設定力や統計基礎などの

講義・ワークショップ°

案) ふるさと納税による税収減にどう対応すべきか? 必要なデータは?

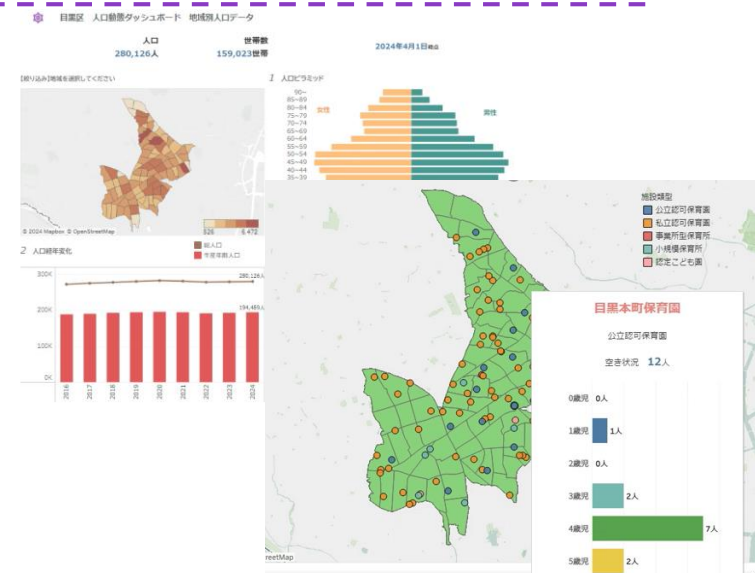


② データ活用スキル

データの特徴や傾向をわかりやすく表現する

BIツール（Tableau）の操作研修

ツールの共通化によりナレッジの共有を図る



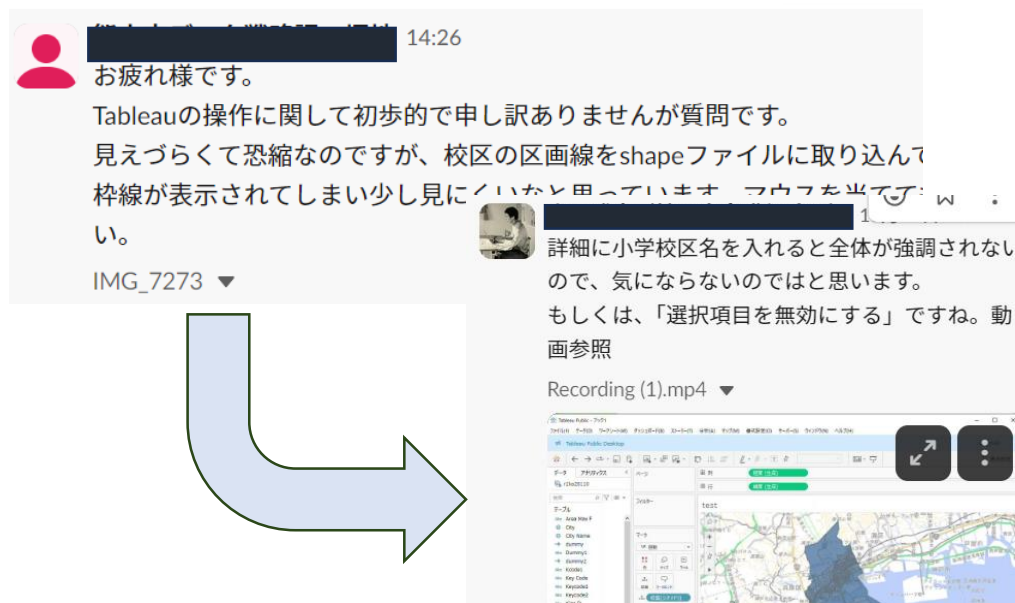
育成スキーム 研修フォロー案



SNS(データ活用に特化した自治体コミュニティ)を通じ、

研修生同士で教え合う関係性を構築し、情報交換に活用
修了後も自治体同士のモチベーションを継続させていく

【Slackでのコミュニケーション事例（目黒区で運営している全国規模コミュニティを活用予定）】

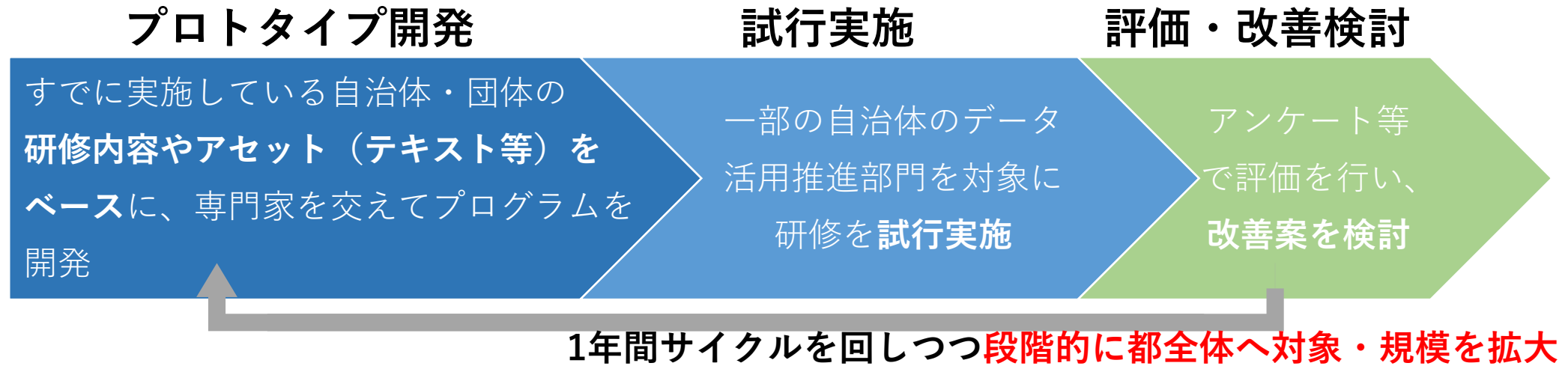


■既存の参加自治体・団体

目黒区、江戸川区、台東区、品川区、
府中市、東村山市、神戸市、横浜市、
川崎市、仙台市、浜松市、大阪市、福岡市、
熊本市、宝塚市、松阪市、石狩市、三原市、
廿日市市、姫路市、奈良市、豊田市、
つくば市、海南市
東京都、GovTechTokyo、J-LIS など

研修プログラムの開発方法・研修の実施イメージ

■ スモールかつアジャイルな開発



■ 担当業務と両立できる研修の実施イメージ



研修を共同開催するメリット

■自治体にとって

研修の実施に係る**コスト（費用、手間、試行錯誤等）の削減**

■研修生にとって

効果的・効率的にリスキリングでき、**成長を実感**できる

同じ共通言語で悩みや事例を共有できる**仲間ができる**

所属組織を超えた人々との交流の中で**高い視座を獲得**できる

■東京都全体

各自治体にデータリテラシーの高い職員が育成されることで、**都全体のデータリテラシーの底上げ**を期待できる

研修の講師陣（予定）

地域情報化アドバイザーや都知事杯オープンデータハッカソンに参加したシビックテックの皆さんなど、データに関わる多様な人々と共創していくことを想定



小出 篤 氏

地方行政経営研究所 フェロー

公共政策のプロ
フェッショナル
自治体業務への
コンサルティング
経験も豊富



佐藤 泰格 氏

都城市総合施策部
デジタル統括課

データ活用により
マイナンバーカード
交付率95%を
全国の市区で最速
達成



武山 大輔 氏

目黒区データ利活用
推進担当係長

自治体×データ分析
の経験を併せ持ち、
データ利活用推進の
パワーを自治体に役
立てたい

2023TokyoOpenDataHackathon
ファイナリスト、アイデア提案賞受賞

VIZZIESメンバー



「TIDE」に込めた思い

東京都全体にデータ活用の**潮（TIDE）**を巻き起こしたい
データ活用に対する自治体の**態度**を変えたい
データ活用を志向する自治体が増え始めた**好機**（tideのスラングの意）を捉え、ムーブメントを加速させたい



**一緒に地域、そして東京のよりよい未来を
データで創りませんか？**



